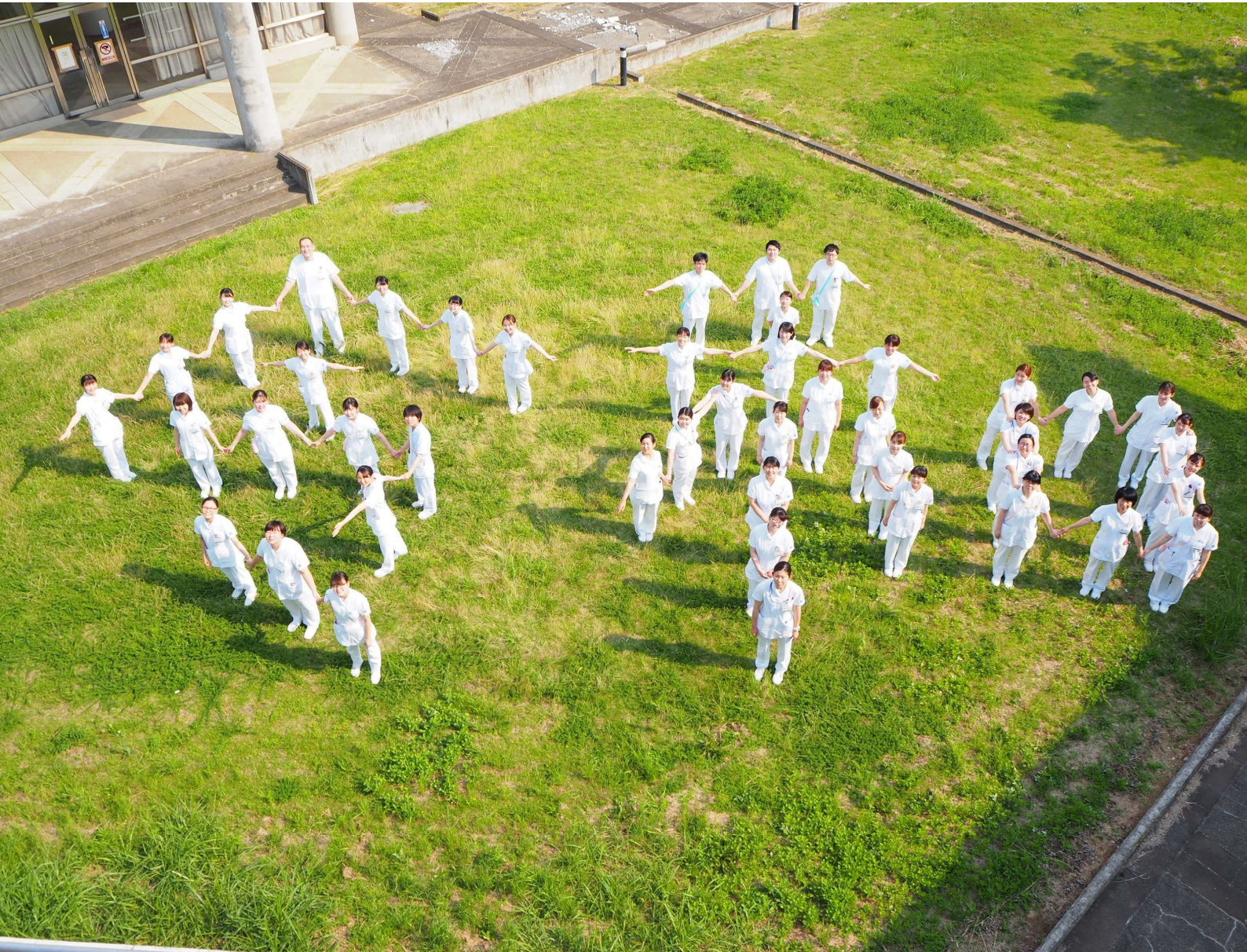




独立行政法人国立病院機構
東埼玉病院だより

発行日 令和1年10月
発行人 正田 良介
〒349-0196
埼玉県蓮田市黒浜 4147
電話 048-768-1161
<http://esaitama-nho.jp/>



今年度入職した新人看護師に人文字に挑戦してもらいました。

「令和」と読めるでしょうか？



目次

地域包括ケア病棟について 2	ふれあい看護体験 6
診療科のご案内 3	地域訪問講座 6
新任医師のご紹介 3	地域医療連携室からのお知らせ . . . 7
看護の日の催し 4	看護部からのお知らせ 8
リウマチ勉強会のご報告 5	病院アクセス 8

地域包括ケア病棟の 運用開始について

2019年2月から、当院の6階病棟一般ユニット（30床）を地域包括ケア病棟として運用開始しています。このユニットは、当院総合診療科が主に入院を担当しており、平成24年の新病棟開設当時から在宅診療を受けている患者さんのバックアップ・ベッドとして機能してきました。

今後の日本の医療の需給予測に基づく地域医療構想の中で、当院は公的病院としてこの地域で将来どのように貢献していくかを示す必要があり、昨年度に「公的医療機関等プラン2025」を埼玉県に提出しています。その中で、（過剰とされている）急性期病床として届け出ていたこのユニットを、（不足とされている）回復期病床機能である地域包括ケア病棟に転換することを表明し、地域医療構想協議会の承認を受けていました。

地域包括ケア病床は、今後の患者さんの人口構成の変化を見込んで、介護施設や在宅からの受入（サブアキュート機能）や急性期病院からの受入（ポストアキュート機能）が注目され、近年増加しています。転換が病床単位で行われたり、自院の急性期病棟からの患者さんの受け皿になっていたりして、本来の目的に合致していない場合も多いと指摘されている中で、当院の包括ケア病棟はサブアキュート機能として正しい形で運営されているものと考えています。

この機能は、当院が掲げる2つの使命「長期に治療・療養が必要な患者さんの専門的医療を行う」「回復期から在宅へ切れ目のない医療を行う」の后者にも適合しています。今後は、自院かかりつけの患者さん以外にも地域の医療機関とより連携を密にして機能を強化する努力が必要と考えています。

（院長：正田 良介）



6階病棟
南側病室より



診療科のご案内 呼吸器科

咳や息切れが続くとき、レントゲンで異常を指摘されたら呼吸器科

国立病院機構 東埼玉病院 呼吸器科

当院は呼吸器科医師 7 名体制で診療を行っており、県内でも有数の呼吸器科診療の拠点となっています。現在も結核診療を行っていますが、結核患者さんの減少により診療の中心は一般の呼吸器疾患となっています。外来通院中の患者さんでは慢性呼吸不全、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、間質性肺炎、肺癌、肺非結核性抗酸菌症、

気管支拡張症などの疾患が多くなっています。治療や診断に難渋する肺炎・胸膜炎や胸部異常陰影につきましては、CT や気管支鏡検査を含めた精査が可能です。平日の午前中に毎日初診外来を行っておりますので、受診希望がございましたら医療連携室（048-769-1970）までご連絡下さい。（呼吸器疾患部門部長：堀場 昌英）

新任医師のご紹介

かしま としたか

外科医長 賀嶋 俊隆



8月1日付けで千葉県市川市の国府台病院から異動してきました。心臓血管外科を専門に行っておりましたが、前任地の国府台病院に赴任前の約2年間、実家で開業医の院長を行っておりました。それまで、心臓血管外科に特化した事のみを行っていましたが、院長をしていた2年間は、一般外来に加え、一般家庭・老人ホーム・介護施設への訪問診療・往診を行い、患者・家族とのコミュニケーション能力の重要性、患者・家族の希望・気持ちに寄り添った診療の大切さを勉強させてもらった2年間と考えています。今後、ペースメーカー移植術、下肢末梢動脈疾患、静脈血栓症、下肢のむくみ、潰瘍、蜂窩織炎等の患者さんがいらっしゃればご紹介していただきたく思っております。

看護の日

東埼玉病院健康まつり

当院は、看護の日にちなみ、病院職員全員で「健康祭り」を毎年開催しています。今年は6月7日（金）に、蓮田駅前のマインの一部スペースをお借りして、行いました。

当日は、天候も悪く、お昼頃は強い雨が降ってしまいましたが、130人以上の方が参加してくださいました。参加者の中には、当日、現地で携帯電話をかけ、「健康祭り、やってるわよ！」と、知人にイベントの開催をお伝えして下さる方や「毎年、これを楽しみにしているの」と言って下さる方もいらして、とてもうれしかったです。

血圧測定、体脂肪測定・骨密度測定・握力測定・認知機能検査をはじめ、専門家による「栄養相談」「お薬相談」「介護福祉相談」、医師による「医療相談」を行いました。

参加者の皆さんは、それぞれの測定値に一喜一憂したり、真剣に相談コーナーに行ったり、ワイワイガヤガヤ…。にぎやかで温かく、活気のある時間となりました。

私たち、病院職員も、このような時間を過ごしながら「地域の方々のために、何かできること」をこれからも模索し、活動していきたい、と強く感じました。

当院をご利用の方だけでなく、地域の皆さんのためにも、頑張っまいますので、今後とも東埼玉病院をよろしく願いたします。

（副看護部長：阿部 聖世）

※看護の日とは、毎年5月12日で、これはナイチンゲールの生誕の日です。1965年に国際看護協会より「国際看護の日（International Nurse Day）」と定められ、日本では、1990年から「看護の日」と制定されました。



リウマチ勉強会のご報告

去る7月30日にリウマチ勉強会が当院で開催されました。蓮田周辺の地域でリウマチ膠原病患者さんに関わっている医療従事者の診療レベルの向上と、地域医療連携を目的として発足したこの会は、今回で第9回になりました。

当日は院内外から、医師3名、歯科医師1名、看護師10名、薬剤師2名、ケアマネジャー2名、栄養士など2名の参加がありました。

前半は「食欲低下をきたした関節リウマチの一例」というタイトルで、医師の中嶋が講演しました。いずれの抗リウマチ薬でも内服により消化器症状を発症しうること、併用する非ステロイド性抗炎症薬や弱オピオイドでも同様の症状がおこることが紹介されました。更に本症例では脱水症を併発したことにより、食欲低下の契機になった抗リウマチ薬を中止した後も食欲低下が遷延し、もう一方の抗リウマチ薬も中止して初めて食欲が回復しました。脱水症により免疫抑制剤の血中濃度が上昇し、血液障害と肝機能障害も起こったことから、関節リウマチ患者では食欲低下を放置せず速やかに対処することが必要なことを示した、教訓的な症例でした。

後半は「関節リウマチ患者さんの口腔ケア」というタイトルで、摂食・嚥下障害看護認定看護師である副師長の浅子が講演いたしました。手指の関節変形・痛みによる口腔清掃不良に対しては、痛みやこわばりの少ない時間帯にケアを行うこと、電動・音波歯ブラシや洗口液を使用すること、手の動きや変形に合わせた自助具を活用することなどが勧められました。顎関節の異常がある場合は口が開かないことで口腔ケアが困難になるものの、見える部分・届く部分をしっかりケアすること、定期的に歯科受診をすることが勧められました。口腔乾燥に対しては、口腔乾燥作用を持つ薬剤の中止、齲歯予防と真菌感染予防、口腔内環境の改善での対応が勧められました。歯周病に対しては、歯と歯茎の境目を重点的にブラッシングすること、45度の角度で当てて5mm程度に細かく動かしながら軽い力で磨くことが勧められました。

第10回は来年当院で開催予定です。引き続き、幅広い職種の方の参加をお願い申し上げます。

(リウマチ科医長：中嶋 京一)



ふれあい看護体験

7月31日（水）に1日看護体験を開催し、県内の高校生10名の参加がありました。当院では、「おいしく食べるって?」「体を動かすって?」をテーマに‘患者さん疑似体験’を交えながら、認定看護師が講演をしました。その後、病棟で実際に患者さんとお話しをさせていただいたり、手浴・足浴など、病棟看護師と一緒に体験しました。一日のさまざまな体験を通して、参加してくれた高校生から「本物の看護師さん、素敵だった」「看護師さんになりたい!」「高齢者の方の気持ちがわかってうれしかった」「もっと色々なことを知りたい」など、元気はつらつと沢山の意見をもらいました。看護師たちも、夢いっぱい高校生から元気をいただきました。そして「何年か後に、一緒に働けるといいね」「あっという間だよ」「待ってるね!」と高校生に声をかけていました。
(副看護部長:阿部 聖世)



地域訪問講座

当院では市民の皆様へより一層健康的な生活を送っていただくお手伝いとして「地域訪問講座」を開催しております。

今回は当院近くにある椿山自治会館に出向き訪問講座を行ってまいりました。対象者は椿山いきいきサロン（椿山地区にお住いの65歳以上の高齢の方々）の皆さんで、86名の方が参加されました。中には100歳を超える方も出席されておりとても健康的で勉強熱心な皆さんでした。

年間2~3回開催しているこの講座ですが地域の皆さんには大変ご好評をいただいております。
(地域医療連携室:坂井 紀章)



地域医療連携室からのお知らせ

平成 25 年 4 月に設置した地域医療連携室も 7 年目を迎えております。

医療福祉相談室と連携を取りながら、地域の病院・施設・診療所との連携がスムーズにいくように日々活動を行っております。「顔の見える連携作りの場」として「他の医療機関との連携を強化する」ことを目標にしております。

昨年度は連携室スタッフの増員もあり、より積極的な連携を図るために、200 弱のクリニック、病院、施設を訪問させていただきました。電話先の顔が見えることで、東埼玉病院との患者さんのやり取りを安心してできるように今後とも努めていきたいと考えています。

これからも走る連携室をよろしく申し上げます。 (地域医療連携係長：木村 亨)

地域医療連携室 (医療機関からの問い合わせ窓口)

電 話 048-769-1970

FAX 048-769-1971

※ご利用時間 月～金 (祝日は除く) 8:30～17:15



—担当スタッフ—

地域医療連携室長	枝元 良広
地域医療連携係長	木村 亨
入退院支援係長	金子 ひろみ
入退院支援係	猿渡 加奈子
医療社会事業専門員	須藤 歩美
運営管理係主任	坂井 紀章

画像診断共同利用

CT・MRI・シンチ検査のご案内

地域医療連携の一環として、画像診断機器共同利用を行っています。お気軽にお問合せ下さい。

電 話 048-769-1970

FAX 048-769-1971



貴重な開放型MRIです

画像診断共同利用実績

平成30年	平成31年	令和元年		合計
10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	
135件	118件	121件	128件	502件

たくさんのご紹介ありがとうございます。

看護部からのお知らせ

看護師募集・介護士募集

～東埼玉病院をご覧になってみませんか～

看護師就職説明会のご案内

開催日時

平日は随時受け付けています。時間は10:00～11:30です。

内容

- ①病院の概要
- ②看護部の概要
- ③福利厚生について
- ④病院見学
- ⑤インターンシップについて

看護師インターンシップのご案内

独立行政法人国立病院機構東埼玉病院看護部では、看護学生の皆様を対象にインターンシップを実施しています。実習とは違う視点で臨床の場を見ていただき、当院の機能や看護の魅力をお伝えしたいと考えています。ぜひ就職の選択に役立ててください。

期間 春休み期間、夏休み期間、冬休み期間等長期休暇中のうち半日～2日間。
上記以外にも随時実施しておりますので、ご相談ください。

方法 希望する部署において、看護師と共に行動しながら看護体験を行います。

時間 9:00～16:00 (オリエンテーション、病院案内、看護体験)

持ち物 白衣 靴 筆記用具 昼食を各自ご持参ください。

個人情報保護：応募された方の個人情報は、インターンシップのみの使用で、そのほかの目的で使用することはありません。

介護士病院見学会のご案内

開催日時

平日は随時受け付けています。時間は10:00～11:30です。

内容

- ①病院の概要
- ②福利厚生について
- ③採用試験について
- ④病院見学
- ⑤就職相談

対象者

介護福祉士または初任者研修修了者



問い合わせ・申し込み先

東埼玉病院 副看護部長

☎ 048-768-1161

ホームページにも詳しく

掲載しています

<http://esaitama-nho.jp/>

東埼玉病院へのアクセス

独立行政法人 国立病院機構

住所：埼玉県蓮田市黒浜4147

電話：048-768-1161

公共交通機関を利用した来院方法



【バスのご案内】

☆「蓮田駅東口」2番乗り場から朝日バス「江ヶ崎馬場」行、あるいは「国立東埼玉病院」行、国立東埼玉病院(約15分)下車

☆「岩槻」朝日バス「国立東埼玉病院」行、国立東埼玉病院(約30分)下車